

【千代田区が九段高校の移譲を要望する理由】

．区立中等教育学校の必要性

1 ．「教育の千代田」の伝統の維持・発展

千代田区は、近代教育発祥の地といわれ、昭和 59 年には、「教育と文化のまち 千代田区宣言」をするなど、従来から教育の充実に力を入れてまいりました。しかしながら、名門私立校の多い都心区においては、児童・生徒の公立離れが進んでおります。とりわけ中学校においては、いわゆる受験戦争が厳しくなるにつれて、中高一貫の私立中学校への進学希望者が急増し、千代田区の区立小学校から区立中学校への進学率は、平成 13 年度 44.1%にまで落ち込んでおります。

そこで、近年の地方分権と自治権拡充の流れの中で、こうした状況を打開し、公立学校の復権をはかり、「教育の千代田」の伝統をこれまで以上に発展・充実させていこうと考えています。

2 ．基礎的自治体としての千代田区の責務

我が国におきましては、昭和 40 年代以降、高校進学率が飛躍的に高まり、都内ではおおむね 97%に達するなど、高校の義務教育化が進んでおります。その結果、中学校までの義務教育と、高等学校における教育課程の一貫した結びつきが求められるとともに、高校受験に向けられている過大なエネルギーとそのための時間を減少させ、多感な時期に教養教育を充実し、人間性を育てる必要が生じています。このための対応の大きな柱として、区民の身近な声を反映できる区が、自らの責任で高校教育の分野にも積極的に対応し、新たな制度として創設された中等教育学校を千代田区の手で開設し、生徒一人ひとりに手をかけ目をかけて、きめ細かな教育を進めていくことが、基礎的自治体としての責務であると考えております。

3 ．千代田区独自の特色ある中等教育学校の設立

中高一貫教育校に関しましては、文部科学省において全国で 500 校程度を整備するという目標が掲げられております。また去る 6 月末に、東京都が今後都立の中高一貫教育校を 10 校設置す

るとの方針を明らかにしました。

千代田区といたしましては、これとは別に、中等教育改革の柱として、平成 10 年度から先進的に区立中高一貫教育校の創設について検討してまいりました。

現在千代田区では、中高一貫教育校の中でもとりわけ区独自の教育方針にもとづく学校づくりが可能になるよう、区立の中等教育学校を設置し、都立にはできない、区立ならではの特色や魅力にあふれる立派な学校を開設すべく鋭意準備を進めているところです。

・千代田区立中等教育学校が目指す教育

千代田区立中等教育学校は、「豊かな人間性や高い志を持ち、創造性にあふれ、地域や国際社会の中で活躍できる豊かな教養と幅広い学力を身に付けた人材」の育成を目指すことを最大の目標に掲げています。そこで、「さまざまなチャレンジを通じ、自分で立つ力、自分で選ぶ力を育て、自分の生き方をつくる」ことに重点を置きます。

そのために、中等教育学校に制度上認められている特例を最大限に生かし、高校受験にとらわれずに 6 年間を系統的に組み立てた特色ある教育課程を編成します。さらに、生徒の個性に応じた指導を充実させ、生徒が自分の生き方についてのしっかりとした基礎固めができるよう、次の 3 点を柱として指導していきます。

1 . 自分にふさわしいライフプランを築くための進路学習の充実

区立中等教育学校においては、まず第一に自分のライフプランを自らの手で築き上げ、自己実現していくための力を身につける進路学習に重点を置きます。

そのために、時間割の中に「自己の生き方」や主体的な進路選択の力を身につけるための授業を設定します。例えば、授業としてキャリアガイダンスを実施したり、区内に立地する多くの企業等とも連携し学習内容や将来の進路等に関連した職場体験学習を積極的に実施していきます。これらを通じ、生徒一人ひとりが 6 年間の学校生活の中で、様々な試みをしながら、自分に最もふさ

わしいライフプランを築き、自己実現をはかっていけるだけの十分な力を身につけることを目指します。自分の将来の高い志を実現するための進路学習の科目も充実させ、生徒の進路選択を多方面からサポートしていきます。

2. 人としてのあり方や生き方を学び、社会人になる基礎づくり

区立中等教育学校においては、継続的な心の教育を通じて人としてのあり方や生き方を学び、社会人になるための重要な基礎づくりを行います。

そのために、例えば学校行事や部活動等においては、12歳から18歳までが一緒に取り組み、学年を越えた交流を積極的に進めることにより、先輩から学び、後輩を育てるといった貴重な経験の機会を増やし、規範意識を育てていきます。また、核家族化が進む都会の家庭では体験することが少なくなった介護体験や保育体験を実施し、高齢者や幼児とのふれあいを通じて豊かな心をはぐくんでいきます。さらには、地域におけるボランティア学習を通じ、千代田区ならではの気質と郷土愛にあふれた人々と出会い、地域社会に密着した活動にたずさわることにより、調和のとれた立派な社会人となるための豊かな人間性を育むことを目指します。

3. 一人ひとりのよさを発掘し、そのよさを伸ばす

区立中等教育学校においては、生徒一人ひとりの興味や関心に応じて、自ら選んだ分野を探求し、個性を伸ばすことに重点を置きます。

そのために、まず本人の個性や希望に応じた学習が出来るシステムを取り入れます。例えば教育課程については、選択の幅を拡大し、後期課程において生徒自身による時間割作成を可能にします。また、じっくり学びたい、あるいは発展的に学びたいといった生徒の希望に対応するため、少人数授業等を実施します。

さらに、首都東京の中心に位置し、さまざまな教育資源に恵まれた千代田区という地域特性を存分に生かした教育を展開していきます。例えば、数ある区内の大学や専門学校と交流・連携をはかり、そのスタッフによる講座や科目の開設、地域の豊かな人材を活用した特色ある講座等を開設をします。また日本有数のIT機能が集積している土地柄を生かし、社会人講師によるIT教育

も推進します。その他、校外施設等を利用した長期間の合宿生活、海外派遣留学、山村留学等、多彩なプログラムを用意します。

こうした学校生活の中で、生徒一人ひとりが、自分の興味や関心に応じて自ら選んだ分野を探求し、それを通じて自己のよさに気づくとともに、充実した指導体制のもとで、その特性をさらに高めることにより、個性の伸長をはかっていきます。

・都立九段高校の移譲を要望した理由

1 . 伝統校を母体校とした中等教育学校の創設

長年にわたり、東京都においては「小・中学校は区、高等学校は都」という役割分担が定着しております。そうした中で、千代田区が他区のさきがけとなって、内容の充実した区立の中等教育学校を開設するにあたっては、これまでの人材育成の伝統と実績のある都立高校の移譲を受け、区立中学校と合わせてその母体校とすることが最善の道と考えております。

そこで、教育環境のめぐまれた地域に立地し、地元千代田区民に古くから親しまれ、地域において伝統を培ってきた都立九段高校の移譲を要望するに至りました。

2 . 千代田区立中等教育学校の目指す方向との合致

九段高校は、当時の府立中学校ではなく市立中学校としての良さを生かすために、大正 13 年に初の市立中学校である「第一東京市立中学校」として開校し、以来 80 年にわたり「自主自律」、「全人教育」などの教育方針のもとに、伝統・校風を築いてこられました。良好な進学実績に加え、部活動においても大きな成果をあげるなど、「文武両道」の精神とそれにもとづく輝かしい実績は、千代田区立中等教育学校が目指す方向とまさに合致しており、千代田区民にとって大きな魅力であります。

そして、九段高校が、このように素晴らしい学校であるという実績こそが、千代田区が中等教育学校の母体校として選び、東京都に移譲を求めた最大の理由であります。

3. 区立九段中学校とのかかわり

九段高校は、千代田区の中央、九段の杜に位置する地元の都立高校として古くから区民に親しまれており、区立九段中学校との間でも、深いつながりがありました。九段中学校の初代校長である近藤太郎氏は、九段高校の教頭から昇任により九段中学校に転じ、校長に就任いたしました。氏は、それまで九段高校において初代校長の成田千里氏の薫陶を受けつつ、20年余にわたって教鞭を執っておられた方です。こうした関係から両校の校風には、互いに共通する部分も多くみられ、ともに地元で高い評価を得ております。

九段高校には、至大荘をはじめ、独自の学校行事等を通じて培われてきた「自主自律の精神」があり、九段中学校には、自主、勤勉、団結の「みつばち精神」があります。今後両校が一体となって千代田区立中等教育学校が開設され、それぞれの伝統を更に大きく向上・発展させていくことによって、今後の千代田区、ひいては東京都、そして日本を担うリーダーとなる人材を育成するにふさわしい学校、また、区民はもとより都民から真に期待されるすばらしい学校が出来ると確信しています。

・千代田区民の期待

現在千代田区においては、区立中等教育学校の一日も早い開校に向けて、保護者のみならず、広く地域の皆さんからの期待の聲が高まっています。

千代田区としましては、平成18年度開校に向け、ぜひともこの構想を推進していきたいと思っております。

今まさに千代田区は21世紀という新しい時代の風を受け止め、一人ひとりの生徒がそれぞれの夢を切り拓いていくことのできる学校を実現していこうとしています。

区立中等教育学校は、区民に身近な基礎的自治体である千代田区が、都立九段高校の移譲を受け、その伝統や実績を生かしながら自ら設置する唯一の中等教育学校です。周囲の熱い期待に十分に応えつつ、行政、学校、地域が一体となって区立中等教育学校を未来に向けて大切に育ててまいります。